

2026年昇天日礼拝・大阪教区婦人会第102回総会

サラ田中愛子

○牧師の書棚○

山口希生

株式会社ヨベル 2020年

『神の王国』を求めて 近代以降の研究史

司祭 バルナバ 永野 拓也

5月14日、今年の昇天日礼拝は石橋聖トマス教会で行われました。お天気にも恵まれ、坂を上って、大きな十字架のある建物を見上げた時のきれいな大空と、トマス教会の信徒の方々の、入り口で一人一人を迎え入れて下さる温かさが大変印象的でした。

礼拝は、司式がバルナバ小林聡主教、説教はステラ・ミシェル大倉有紀執事でした。

大倉執事の説教は、まず、「キリストの昇天」を題材とした四つの宗教絵画の紹介から始まりました。レンブラント、ジョット、ダリ、マンテー

ニヤ。マルコによる福音書第16章19節、「主イエスは、弟子たちと話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた」とある「キリストの昇天」が四人の画家それぞれの捉え方で、個性的に描かれていて、その対比が面白かったです。

また、聖書箇所、マルコによる福音書第16章9〜15、19〜20節のお話で、マグダラのマリヤや二人の弟子にイエスが姿を見せたことを伝えても、人々は信じなかったり、イエスを受け入れることができずにいたこと。人々の不信仰、かたくなな心。そのよう

な弱い自分、人間であっても、イエスは私達を愛して下さっていることに、自分自身も大変勇気づけられ、また、感謝の気持ちで一杯になりました。当日の出席者は105名。献金は117,120円。献金先は、長崎聖三一教会（九州教区）の教会補修、大阪聖三一教会です。ありがとうございました。

そして、午後には第102回総会が開かれました。今回は、議案審議の中で、婦人会会則を改定する箇所があり、質疑応答も活発な中、満場一致で可決となりました。出席者は81人でした。ありがとうございました。今後の婦人会の活動もどうぞお祈りくださいます。

総会の後、バザーやお抹茶サービスなど多くの教会のご協力により、楽しい交わりのひと時に心潤わされて、家路につきましました。

主に平和

（堺聖テモテ教会）

私たちは信仰生活の中で「宣教」という言葉を耳にする機会があります。一方で、「宣教とは何なのか？」と問われると、実は人によって様々な答えが返ってくるのではないのでしょうか。それだけ、「宣教」という言葉が多様な意味を持つことを表していると思います。

福音書は、イエスさまが「時は満ち、神の国は近づいた（マコ1:15他）」と語り、宣教を始められたと述べています。つまり、イエスさまにとつて「神の国」を伝えることこそが、「宣教」の中心だったと言えるでしょう。しかし、「神の国」とは何なのかと問われると、私たちは改めて考え込んでしまいます。そんな私たちに「神の国」という言葉について示唆を与えてくれるのが、今回紹介する『神の王国』を求めて 近代以降の研究史」です。

本書の著者である山口希生

氏は、著名な新約学者でもある英国聖公会のN. T. ライト主教の弟子の一人です。その山口氏が、教役者だけではなく信徒も対象に発行されている『舟の右側』という月刊誌で三年にわたって連載していた「神の王国」という記事を書籍化したものが、本書です。興味深いのは、山口氏の持論を展開しているというよりも、19世紀以降に多くの研究者が「神の王国」という言葉をどのように考えたかというところが、丁寧に語られている点です。例えば神の国は「自分たちの心の中で実現するものだ」という意見もあれば、「将来実現するもの」という考え方も示されています。「神の国」という概念が、如何に多様なものか、そして多くの人々によって論じられてきたかを知ることは、「宣教」という言葉を巡って、葛藤している私たちにとって意味深いものであると考えます。

（3頁4段目に続く）



「キリスト教とシオニズム」

— 戦後80周年を憶えて —

司祭 フランチェスコ ^{なる}成 ^{おか}岡 ^{ひろ}宏 ^{あき}晃

セーシオン主義」に立つて現代のイスラエル国家を無条件に支持する思想に基づき、パレスチナを排他的にユダヤ人のものとし、中東での戦争を世界最終戦争（ハルマゲドン）やイエス再臨への「神の計画」として待望する神学への危機が語られた。

19世紀英国のJ. N. ダービーらによって体系化されたこの思想は、大英帝国の植民地主義的野望と結びつき発展した。20世紀後半には米国の「福音派」を中心に爆発的に広がり、強力な政治的影響力を持つに至ったことが語られた。

去る、3月21日（土）と4月25日（土）に大阪聖愛教会にて岩城聰司祭を講師に迎えて、「キリスト教シオニズム」についての学びの時を過ごした。大阪聖愛教会のみならず、とくに牧師の古澤司祭のホスピタリティには感謝をしてもし尽せません。

講演ではまず、聖書の極端な字義的解釈や「デイスペン

現在、パレスチナでは入植植民地主義による土地の強奪、アパルトヘイト、そしてガザでのジェノサイドやインフラ破壊（ドミサイド）が進行しており、キリスト教シオニズムはこれらの暴力を宗教的に正当化し、人権を軽視して平和への展望を阻害していると岩城司祭は語気を強めていた。日本でもこの思想が浸透している実態が報告された。

岩城司祭は、聖書のイスラエルと現代の「世俗国家イスラエル」は別物であり、両者

を同一視して現在の暴力を正当化することは「神への冒瀆」であると強く批判し、神は弱く虐げられた者を愛される平和の神であり、私たちは現地の「生ける石」であるパレスチナ人クリスチャンの叫びに耳を傾け、彼らと連帯すべきであると主張した。

信仰が政治的野心や差別の道具とされる危うさに触れ、富や力を振りかざす道ではなく、福音の根幹である神の義と愛に基づく共同体を追求し続ける信仰生活を大切にしなければないと深く感じた。

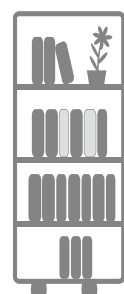
（芦屋聖マルコ教会牧師）



(2頁続き)

ちなみに、神戸教区では4月から月に一度、オンラインで教役者の有志で本書の読書会を開催しています。興味のある方は、是非永野までお声掛けください。「神の国」について共に学びながら、「宣

教」について考えを深めていければと思います。
(プール学院中高チャプレン)



「春の教役者黙想会（黙想と研修）」報告

司祭 ジョイ 千松 ^{せんまつ} 清美 ^{きよみ}

去る3月20日（金・祝）午前10時から午後4時まで、守口聖オーガスティン教会において大阪教区聖職養成委員会主催「春の教役者黙想会（黙想と研修）」が開催され、教役者11人が出席しました。内田望司祭が講師を務め、「病床訪問（病床聖餐・塗油・死に臨んでいる人のための嘆願）」と「通夜の祈り（葬送の式）」について、それぞれ基本事項のレクチャーと質疑応答、意見交換とそれに続く黙想を行ないました。祈禱書に基づく基本事項のレクチャーは、ルブリックにある言葉の大切さが語られ、それぞれに必要な式服や聖具の準備など実際的な説明は大変参考になり、私たちに欠けていた点や気づかされた点はす

ぐにでも実行できる研修となりました。また意見交換においては、教役者の日々の牧会でのように考え、対応すればよいのかをこれまでの経験から具体的な意見が多く述べられ、自身の牧会内容の確認と反省、そして励ましを受けとることができました。黙想では悩み落ち込む出来事が頭の中を巡りながらも、主の臨在と導きのもとで平常心が与えられるときを過ごさせてもらいました。講師を務めてくださった内田望司祭のレクチャーは教役者としての働きにおいて実践的で現実味あるものでしたので、別の項目で第2弾を期待したいです。

（石橋聖トマス教会牧師・東豊中聖ミカエル教会管理牧師）

第106代カンタベリー大主教就任・着座式

司祭 ヒューム ウィリアム ユーワン



聖パウロ大聖堂で首座主教の十字架を持って
祝祷を授けられる

2026年3月25日、「聖マリアへのみ告げの日」にカンタベリー大聖堂においてサラ・ムラリー主教 (Sarah Mullally) がカンタベリー大主教として就任しました。

1月28日に聖パウロ大聖堂において行われた当選確認式によってムラリー主教はカンタベリー大主教となりました。その式の中で、ムラリー

大主教は首座主教の十字架を受け取り、カンタベリー大主教として初めての祝祷を行ったという事です。更に、2月5日にムラリー大主教はカンタベリー大主教としてイギリスの上院議員の中の聖職貴族 (Lords Spiritual) の一人となりました。

3月25日の礼拝の中で一番重要な部分は着座式です。式の初めにサラ・ムラリー師をカンタベリー大主教として任命するため、国王チャールズ3世からの任命書が読み上げられました。その後、新カンタベリー大主教は入堂が許されました。

カンタベリー大主教はカンタベリー教区の大主教だけでなく、全英国教会首座主教 (the Primate of All England) ですので、そのことを反映するため、着座式は二つ行います。最初に、カンタベリー大聖堂の大執事がムラリー大主教をカンタベリー教区の座席に着座させ、そしてカン

タベリー管区の教務院長であるウインチェスター教区大主教が新大主教を祝福しました。最後に、カンタベリー大聖堂の主任司祭が牧杖をムラリー師に渡したことによって、彼女はカンタベリー教区の大主教に就任しました。続いて全英国教会首座主教に就任するため、カンタベリー大聖堂の主任司祭は新大主教をカンタベリーの聖オーガスチンの椅子に着座させました。また、カンタベリー大主教はアンゲリカン・コミュニケーションの代表

者 (primus inter pares) ですので、着座後にアングリカン・コミュニケーションの総長からコンパス・ローズが渡されました。

ムラリー師が女性として初めてカンタベリー大主教に就任したことによって、ガラスの天井が打ち破られ、英国教会は新時代に入ったと言えるでしょう。

(堺聖テモテ教会牧師、聖ルカ教会管理牧師、桃山学院大学チャプレン、東光学園チャプレン)

大阪教区 教区聖歌隊 メンバー募集

主のみ名を賛美します。2026年9月27日(日)にプール学院清心館で行われる教区礼拝で共に賛美して下さる教区聖歌隊メンバーを募集いたします。練習予定は下記の通りです。多くの方のご参加をお待ちしています。 礼拝・音楽委員会教区聖歌隊担当 内海由美子(川口)

2026年 大阪教区礼拝

- 日時** 2026年 9月27日(日) 11:00~
- 場所** プール学院 清心館 JR環状線「桃谷」駅下車
- アンセム曲** 説教後 希望の巡礼者 Pilgrims of Hope (日本語・4声)
作詩: Pierangelo Sequeri 作曲: Francesco Meneghello
訳詞: 日本カトリック司教協議会
- 陪餐中** 山に向かって目をあげる (イ・ゴニオン作曲) (日本語・4声)
- 練習予定** 6月28日(日) 14時~16時 川口基督教会 聖堂
7月12日(日) 14時~16時 川口基督教会 聖堂
8月9日(日) 14時~16時 川口基督教会 聖堂
9月13日(日) 14時~16時 川口基督教会 聖堂

楽譜は初回練習でお渡しします。初回練習に参加できない方は、教会へ郵送するなど適宜対応いたします。パートごとの練習用音源をYouTubeにて限定公開の予定です。練習には可能な範囲でご参加ください。

リハーサル 9月26日(土) 17:20~18:00 プール学院清心館
清心館では、入試説明会が開催されているので、17:00以降しか入校できないとのことですので、ご注意ください。

当日 9月27日(日) 9:50~10:20 練習
11:00 教区礼拝にて奉唱

【初めて教区聖歌隊に参加される方のみ、お申込みをお願いします】 7月5日(日)

メールにてお申込みください。
下記のメールアドレスに「お名前・教会名・連絡先(電話番号またはアドレス)」を明記してお送りください。確認次第、ご連絡いたします。担当 内海由美子

大阪教区聖歌隊 メール seikataiosaka@gmail.com

※右のQRコードからお申込みできます。



教区イベント

教区関係教役者 逝去記念聖餐式

2026年

7月8日(水) 10:30

司式…テモテ内田 望司祭

説教…ペテロ 金山 将司司祭

8月12日(水) 10:30

司式…ヨハネ 木村 幸夫司祭

説教…フランチェスコ 成岡 宏晃

司祭

会場…川口基督教会

2026 キッズフェス ティバル

～さがしてみつけてイエスキリスト～

2026年7月20日(月・休)

10:30～15:00

会場…川口基督教会

大阪教区礼拝2026

2026年9月27日(日)

11:00

プール学院 清心館

みんなの一日バスツアー
大塚国際美術館をめぐる
ほか徳島観光、郷土ランチ

2026年10月31日(土)

参加費14,000円

公 示

救主降生 2026年4月21日
日本聖公会大阪教区 教区主教
主教バルナバ 小林 聡

司祭 ヤコブ 松平 功
5月1日付 司祭ヤコブ義平雅夫のもと第4主日守口聖オーガスティン教会の礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 ヤコブ 義平 雅夫
5月1日付 司祭ステパノ柳時京のもと第4主日大阪聖ヨハネ教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 フランチェスコ 成岡 宏晃
5月1日付 司祭ジョイ千松清美のもと第4主日東豊中聖ミカエル教会の礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 アモス 金 頭昇
5月1日付 司祭ペテロ金山将司のもと第3主日恵我之荘聖マタイ教会、第4主日聖ルシヤ教会の主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 バルナバ 永野 拓也
5月1日付 司祭ペテロ金山将司のもと第1主日恵我之荘聖マタイ教会、第2主日富田林聖アグネス教会、第3主日聖ルシヤ教会、司祭ステパノ柳時京のもと第5主日大阪聖ヨハネ教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

執事 ステラ・ミシェル 大倉 有紀
5月1日付 司祭ヤコブ松平功のもと第4主日大阪聖アンデレ教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 ウイルソン ウォーレン (退)
5月1日付 司祭ヨハネ古澤秀利のもと第1主日と第4主日聖ガブリエル教会での主日礼拝の協力を嘱託する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

司祭 マルチン 韓 相敦 (退)
5月1日付 司祭ステパノ柳時京のもと第1主日大阪聖ヨハネ教会での主日礼拝の協力を委嘱する。ただし、任期は2027年3月31日までとする。

以上

大阪教区合同埋葬式

2026年11月7日(土)
14:00

貸し切りバスで楽しい一日を一緒に過ごしましょう。男子会のみならず、どなたでもご参加ください。
問合せ…大阪教区連合男子会
06-6621-2179

場所…大阪教区墓地(大阪霊園内)
埋葬申請期限…2026年9月30日

問合せ…教区事務所(担当:上谷衣代)

06-6621-2179

大阪聖パウロ教会 からのお願い

2026年1月1日より、

聖贖主教会と合同で礼拝を行っております。大阪聖パウロ教会への郵送物は聖贖主教会宛でお願いいたします。

聖贖主教会
〒532-0028
大阪市淀川区十三元今里3-1-72

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第2水曜日 川口基督教会

7月8日(水) 10:30~

説教者：金山 将司 司祭

- 1日 司祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889、英)
- 伝道師 野村 志津 (1997)
- 5日 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト(1934、英)
- 9日 伝道師 フィベ 山上 操 (2014)
- 12日 主教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006)
- 14日 主教 アーサー・ウィリアム・プール (1885、英)
- 15日 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942、英)
- 20日 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス (1942、英)
- 司祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990)
- 21日 司祭 堀江 義作 (1928)
- 執事 永田 保治郎 (1941)
- 22日 司祭 イサク 木川田 満 (2018)
- 23日 伝道師 中村 貞子 (1953)
- 宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957、英)
- 24日 司祭 西田 弥吉 (1945)
- 宣教師 ジェーン・アン・スタンベリー (1963、英)
- 25日 司祭 サムエル 堀江 光児 (1990)
- 28日 主教 マルコ 小池 俊男 (2011)
- 29日 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ (1940、カナダ)

8月12日(水) 10:30~

説教者：成岡 宏晃 司祭

- 5日 主教 エドワード・ビカステス (1850~1897、英)
- 8日 主教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959、米)
- 9日 宣教師 アグネス・S・ウィリアムス (1970、英)
- 10日 司祭 ヨハネ 桜井 猶次郎 (1945)
- 主教 ペテロ 藤本 寿作 (1969)
- 11日 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ(1890~1966、英)
- 18日 司祭 関 翔 (1953)
- 24日 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァントリストラム(1948、英)
- 30日 伝道師 ルツ 中村 光尾 (1978)

【常置委員会報告】

4/14第8回(定例)

I. 議事

- 各委員会よりの報告を共有した。
- 浅海神学生と主教・常置委員が面談を実施し、その内容が報告された。
- 東日本教区の成立と5月23日に第1回総会が行われることが報告された。
- 教役者給与支給の教区一元化について意見交換を行った。

II. 主教より諮問

- 5月以降の教役者主日勤務

た。

- 3月度の一般会計報告を承認した。
- 牧会補助金申請について協議し、補助金額を決定した。
- 教区英語礼拝の充実に向け、チーム拡大について検討した。
- 各委員会におけるプログラム費用の予算申請・報告に関する手続き及び書類について確認した。

- 浅海神学生の現状を共有し、4月以降の状況について確認をした。
- 2026年度教区分担金の補正予算案を承認した。
- 教区内の牧会状況について情報共有がなされた。
- 4月度の一般会計報告があり承認した。

5/19第9回(定例)

I. 議事

- 前回議事録の内容を確認し、承認した。
- 各委員会よりの報告を共有した。
- 大阪教区宣教協議会のテーマおよび、大阪教区のことから教区としての方向性

II. 主教より諮問

- 人事に関する諮問を受け、意見交換をした。
- 台湾聖公会主教按手・就任式に対して、何らかの形で祝意を表すことを確認した。

洗礼

石橋聖トマス教会

クリストファー 佐藤 昭司 (4月17日)

初 陪 餐

石橋聖トマス教会

クリストファー 佐藤 昭司 (4月17日)

逝 去 者

大阪聖愛教会

プリスキア 天野 桂子 (4月4日・87歳)

パウロ 月島 陽三 (5月14日・85歳)

大阪聖ヨハネ教会

ユニケ 長谷 恵美子 (4月9日・90歳)

トマス 岸本 健次 (5月30日・88歳)

高槻聖マリヤ教会

ペテロ 河野 芳孝 (4月22日・83歳)

守口聖オーガステイン教会

ヨハネ 寺本 安彦 (4月2日・96歳)

石橋聖トマス教会

クリストファー 佐藤 昭司 (4月22日・70歳)

大阪聖パウロ教会

小川 昭子 (5月30日・98歳)